

福島県退職公務員  
連盟北会津支部

# おもと

第 88 号

発行日 令和 6 年 2 月 24 日(土)

発行者 福島県退職公務員連盟

北会津支部長

成 田 正 良

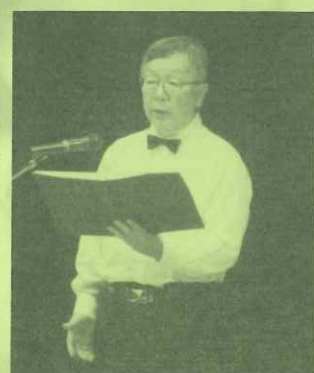
## 令和 5 年度秋のつどい「ステージ発表」

福島県退職公務員連盟北会津支部



令和 5 年 9 月 17 日  
(日)に、会津若松市生涯学習総合センター多目的ホールで、秋のつどい「ステージ発表」が行われました。

会員の皆さんの素晴らしい発表に、会場から大きな拍手が送られました。



## (財)日本退職公務員連盟は

- 1 退職公務員の生活を守るため、恩給・共済年金の適切な改善を図ります。
- 2 わが国の理想的な公務員制度の確立を目指します。
- 3 会員の研修を進め、公共の福祉増進に寄与します。

〈設立目的から引用〉



支部長あいさつ

## 「退公連活動、新たな一歩」

福島県退職公務員連盟北会津支部長

成田 正良

「今回の秋のつどいは一味違いますね」と、ある先輩会員から温かい言葉をいただいた。念願であったニューバージョンでの一連のイベント「秋のつどい」が終了した。

一般市民に開放し、会津若松市生涯学習総合センターの市民ギャラリーで開催した「作品展」、多目的ホールでの「ステージ発表」、最後を締めたワシントンホテルでの「表彰・祝賀懇親会」と感動ドラマの数々。「秋のつどい」の本来の趣旨を踏まえながら、退公連活動を広く周知する視点から新しく挑戦したものである。シンボルマークの赤い2本ののぼり旗が、会場の入り口で皆さんを出迎える。まさに新しい退公連の門出を鼓舞するかの如く、スクリーンの映像を熱く彩る。

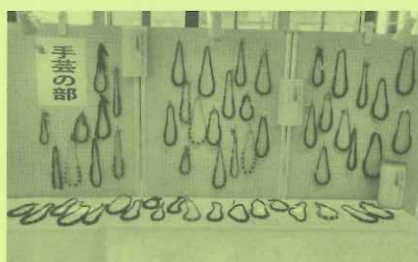
年金研修会・親睦旅行・ボウリング大会・児童園訪問も一色違っていった。今年の退公連は、新たな一歩を踏み出したと今確信している。この姿勢を続けることが必ずや退公連北会津支部の未来を開くと信じ、ドラマを続けていこう、皆さんの温かい眼差しとともに。



### 秋のつどい「作品展」

令和5年9月17日(日)～18日(月)

会津若松市生涯学習総合センター「市民ギャラリー」





# 《 受賞おめでとうございます! 》

「秋のつどい」の『表彰・祝賀懇親会』を、「ステージ発表」や「作品展示」とは別に、10月12日(木)にワシントンホテルで実施しました。

※ 以下、敬称は省略させていただきます。



## 傘寿祝賀者 (昭和18年1月~12月生まれ、 本年満80歳を迎えられた方 17名)

6地区 鈴木 清二	8地区 五十嵐 子	9地区 渡部 清子
12地区 遠藤 利子	23地区 原 康之	25地区 酒井 紹雄
28地区 川島 恒子	35地区 星 幹男	36地区 塩澤 勝利
39地区 佐藤 智子	43地区 五十嵐弘子	47地区 高石 寛治
50地区 芳賀喜美子	57地区 平田 耕	59地区 柳橋 幸生
59地区 笠井 英雄	60地区 柳橋 悦子	

## 特別功労者 (役員を10年務められた方 2名)

12地区 物江 伸夫      63地区 大沼 辰雄



## 功労者 (役員を5年務められた方 10名)

3地区 矢澤 良伸	15地区 宇川 守	24地区 東條 有克
25地区 木村なるみ	31地区 渡部 睦美	37地区 大堀 浩平
42地区 酒井 完	55地区 大越 辰哉	55地区 林 泰嗣
64地区 鈴木 兵市		

## 叙勲受章者

(令和4年秋・令和5年春の叙勲で受章された方 2名)

『瑞寶雙光章』

26地区 菅家 敏之  
63地区 高梨 光一

(令和4年9月~令和5年8月、  
高齢者叙勲で受章された方 2名)

『瑞寶雙光章』

21地区 羽染 健一      16地区 山ノ内不二彦

※叙勲受章者につきましては、例年『表彰・祝賀懇親会』  
の中でお名前をご紹介させていただいております。

## [ 祝賀懇親会の様子 ]





## 【 組 織 部 の 活 動 】

組織部では、「全会員による勧誘声かけの推進」「賛助校訪問等で現職の方の退公連への理解を深める」「定年延長による定年退職者0に対応した勧誘方法の工夫」「教職員以外の職種の退職者への働きかけ」という4つを活動の柱としました。

特に今年度は、「自分の地区の誰に勧誘の声かけをすればよいかわからない」という声を受けて、過年度退職者で未加入の方の名簿を作成しました。また、会津の他支部と連携した入会勧誘ができないかを探る取り組みも行いました。

賛助校訪問では、高校での賛助会員数の大幅な減少を改善すべく、管理職から先生方へ働きかけがしやすい時期に変更して訪問しました。また昨年度に続いて、現退職校長会教育懇談会開始前に、成田支部長より退公連の現状と組織強化に向けた熱い思いを語る時間を作っていただきました。さらに、各校に退職予定者数アンケートを行い、定年退職者0下での途中退職者数の確実な把握に努めました。

今後、定年が段階的に60歳から65歳に延長されるにもかかわらず、60歳から65歳までの間は給与を低く抑える措置が講じられます。体力的にも金銭的にも厳しくなる定年直前の現職者の現状について、我々退職者も無関心ではいられないと強く思う一年でした。



## 【 年 金 部 の 活 動 】

コロナ禍で中止されていた年金研修会を4年ぶりに開催することができました。猛暑の8月6日、会場は会津若松ワシントンホテルでした。

講話1は、福島県退職公務員連盟年金部長の秋山時夫氏による「公的年金制度の現状と今後の課題」でした。今回初めてビデオプロジェクターを活用した講話となりました。手元にも資料があり、年金の仕組みと今後の課題が分かりやすいと好評を博しました。「公的年金制度は、世代と世代の助け愛のシステムである。年金受給者は現役世代に感謝し現行制度を引き継ぐべき」と結んでおられました。

講話2は、成田正良地域教育コーディネーター（支部長）による「人生100年時代 愉しく生きる～時の流れ（退公連の歴史）は歌とともに～」でした。ほとんど知らない退公連の歴史を、その時流行った歌謡曲に乗せて、振りかえるものでした。一千回に達する講演会を開催してきた氏の話術と熱唱で、時代や世相を反映した退公連の歴史を垣間見ることができました。また、会員の減少傾向が続く中でも、自ら参加することによって、愉しく生きることができ姿を再認識することができました。





## 【 女性部の活動 】

毎年絶やさず続けてきた児童園訪問ですが、コロナ禍の間は子ども達との交流は控え、プレゼントを渡すのみで、子どもたちとの交流は控えざるを得ませんでした。しかし、今年度は4年ぶりとなる児童園の子ども達との交流会が実施できました。



交流会では、昔話の読み聞かせから始まり、語り部の滝沢事務局長の声に吸い込まれるように話に聞き入る子ども達の姿が印象的でした。また、折り紙達人の長尾副支部長のリードのもと、新聞紙で作る折り紙鉄砲も大好評で、幼児から6年生までの子ども達は、みんな笑顔で自分の折った紙鉄砲で遊んでいました。絵を描くことの得意な子ども達は、姿を変える折り紙に絵を描きながら、オリジナルの変身折り紙を完成させました。風船バレーボールのゲームも熱戦で、チームごとに協力し合いながら楽しい時間を過ごすことができました。

最後に、手話を交えて歌った「さんぼ」の合唱も、ほのぼのと温かい素晴らしい時間でした。今回は、支部長、副支部長と女性部員6名、会員2名、計10名での訪問でした。子ども達とのふれあいを通して、沢山の笑顔や歓声に出会い、現役時代が懐かしく思い出されました。

## 【 福祉部の活動 】

福祉部では、3つの事業を行ってきました。そのうちの2つの事業について報告します。

まず「親睦旅行」についてです。コロナ禍のため延び延びになっていた「袋田の滝方面への旅行」を実施することができました。当日は雨模様の天気、山本不動尊では傘をさしながらの参拝になってしまいました。しかし、袋田の滝ではその雨が幸いし、写真のように豪快な滝の様子を眺めることができました。さすがは「日本三名瀑」のひとつに数えられるだけのことはある、と感激しました。



もう1つは「ボウリングを楽しむ会」についてです。平成26年に始まった行事ですが、近年は参加者の約半数が福祉部員というように人数的にも寂しいものでした。そこで、理事会・支部委員会の場においても「目標20名超」を公言し、多くの会員の参加を募ってきました。初めて参加された方や友達を誘って参加された方もあって、ついに目標の20名に達することができました（ぎりぎりですが・・・）。



参加者に感想を書いてもらいましたが、「参加者が多く、賑やかでとても楽しかった。」という感想がほとんどでした。来年も参加したいという声も多く、心強く思っています。



## ある出会いから

小島 靖 (26地区)

「新聞、テレビのニュース、囲碁番組、巨人戦、そして天気予報」、父の姿が目に浮かぶ言葉です。特に、天気予報については、「今日は風が強いから植木鉢を移動」「雨が降らないので水撒き」「大雪になるから雪片付け」等、指示が次々と。またかと思いながらも、何時しか、私自身も天気を気にするようになり、子どもたちにも天気予報を伝えるようになりました。今でも天気予報はいくつかを見比べています。



天気を気にする私にとって、2年前の4月にとても大きな出来事がありました。それは、ある番組でのある気象予報士さんとの出会いでした。わずか数分間の彼の予報を見終わった後、思わず「ん？この人、凄い。」と心の中で叫びました。今まで目や耳にしてきた気象予報士の中でも、特に印象に残りました。彼の何が凄いのか、私なりに考えてみました。

一つ目は、当たり前のことかもしれませんが、『わかりやすい言葉遣い』

二つ目は、視聴者にとって『聞き取りやすい声量・スピード』

三つ目は、つい引き込まれてしまう『適度な強調・抑揚・トーン』

四つ目は、聞き手の心をいつの間にか掴む『目線・表情』

五つ目は、視聴者の立場に立つ『相手への理解』

これらが一つも欠けることなく、相まっでの凄さなんだろうと感じました。彼のブ

ログの中に、「伝える天気予報から、伝わる天気予報を目指して」という一文が書かれていました。納得しました。一人ひとりに伝わるために、日々努力されていることがわかりました。

彼は何時の日か転勤等で何処かに異動することでしょう。何処に行っても、行く先々の人々の心に伝わる気象予報士として活躍してくれると想像できます。



退職して3年。今、公民館でお手伝いをさせていただいております。地区内の園児・児童・生徒の皆さんや地域の皆様方との出会いを通して、数え切れない心に残る大切な『伝わる』想いを頂いています。



[ 公民館職員と ]

常に相手のことを考え、伝えるだけでなく、伝わることの大切さに気づかされた出会いでした。

(次号は、59地区の阿久津光俊さんへバトンタッチです)



おもと

## P T A 改 革

会津若松市立東山小学校長 高原 昇

今年度、PTA改革本格実施2年目を迎えました。「子どもが笑顔になるためにはまず大人が笑顔でなければいけない」からスタートし、義務や強制をやめ、すべての活動を「できるひとが できることを できるときに たのしくやる活動」と定義し、「ボランティア」で運営していくことにしました。

そこで、今までの「PTA専門委員会」を廃止し、新たに「地域連携協働サポートセンター」（愛称；ちいさぼ）を立ち上げました。そこが中心となって、その都度保護者から「ボランティア」を募集し活動していく形をとっています。この改革を後押ししてくれたのが、地域です。ここには、以前から「東山人と地域をつなぐ会」という組織があり、地域の協力が得やすい環境にありました。PTAだけでは十分な人材確保が難しいときには協力を依頼できる横のつながり、協力体制がしっかりできています。この活動が、持続可能なものになっていくことが今の目標です。



[ 運動会準備 ]



[ 環境整備 ]



## 経験を活かしながら新たな学びを…

5地区 小林 義弘

令和5年3月に小金井小学校を最後に定年退職し、4月からは公益社団法人会津若松医師会附属会津准看護高等専修学校の事務長として、フルタイムで勤務しています。

3月までと同じ教育機関ではありますが、教員から事務へと全く違う仕事に、戸惑いの連続です。しかも、事務長といっても事務職は自分一人。すべての事務を一人でやらなければならない大変ですが、新たな学びの毎日でやりがいがあり充実しています。

ここ数年はコロナの影響もあって入学者が少ない状況が続いており、生徒確保が大きな課題です。学校の様子をホームページにアップしていた経験を活かし、この夏、准看護学校のホームページをリニューアルしました。これを見た人が一人でも多く入学してくれれば…。入学希望者、誰かいないでしょうか。

毎日のデスクワークで、最近では運動不足気味。今は対策として、腕立て伏せとスクワット100回を日課にしています。これからも、健康第一でがんばります！



[ オープンスクールの様子 ]



## 安全支援活動紹介

退職公務員連盟では、地区防犯協会、保護者の有志、地区の有志、地区の見守り隊等、多くの団体の方と連携・協力をして、社会貢献活動の柱の一つとして、子どもの「見守り活動」をしています。

自主的活動が中心となっていますが、各小学校区で多くの方が参加されています。皆様のご協力により大きな事故もなく、安全に登下校している子ども達の姿を見ることができ、嬉しく思っています。

会員の高齢化や減少が進み、活動に支障が出てきている地区もあります。街頭に立っ

て行う活動ばかりが「見守り活動」ではありません。自宅付近で日常的に子どもたちを見守っていることが犯罪者の抑止につながり、事故防止につながります。「見守り活動」は、誰もができる活動ですので、皆様方の積極的な参加をお願いします。



事務局を始め、各部でも積極的な取り組みが実施されました。

広報部では、事務局や各部で工夫され実施された活動を、紙面構成を工夫しながら紹介して参りました。今後とも、会員の皆様に親しんでもらえる広報紙を目指して、広報部員一同取り組んで参りたいと思っております。

当支部では、ホームページを立ち上げ、適宜、会員の皆様に退会連関係の情報を発信しております。ぜひ、活動の様子をご覧いただければと思います。

最後になりましたが、お忙しいところ、原稿執筆にご協力いただきました会員の皆様方に、心より厚く御礼申し上げます。



新年早々、能登半島地震や航空機事故が発生し、世の中はいつ何が起ころかわからないことを改めて実感しました。災害が起きた時は、家族や知り合い同士、お互いに助け合いながら、絆を深めて対処していきたいものだと感じました。

令和五年度は、五月に新型コロナウイルスが五類に移行され、退会連北会津支部の活動もようやく例年の活動が進められるようになりまして、今年度の活動の特徴は、例年の活動を実施するだけでなく、コロナ禍で制限されたことを吹き飛ばすようなパワーアップした活動が次々と行われたことです。三年間制約を受け、思うように活動できなかった分を取り返すように、事務局を始め、各部でも積極的な取り組みが実施されました。

昭観

—— 海外旅行、国内旅行 ——

- 国際航空券・国内航空券・J R券の予約販売
- 海外旅行指券・国内観光券・船車券の予約販売
- 修学旅行・遠足旅行・観光バスの手配全般

全日本旅行業協会 加盟店員  
J R 東日本旅行業協会 協会員  
昭観 全国登録旅行業第2-109号

## 昭和観光株式会社

本社 〒965-0817 福島県会津若松市千石町4番6号  
TEL (0242) 25-2525(代表)  
FAX (0242) 24-2561.24-2634



祝福の宴

ご婚礼予約承り中！

春のご宴会プラン (90分飲み放題付)	ご宿泊 シングル	8,800円～
お一人様 6,000円～ (税金・サービス料込)	ダブル	15,000円～
	ツイン	17,000円～

各種ご宴会承り中      インターネット予約  
http://www.fujita-kanko.co.jp/

### 会津若松ワシントンホテル

〒965-0024 福島県会津若松市白虎町201  
TEL(0242) (22) 6111(代)  
宴会直通 TEL(0242)(22)6130

